

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.219
2022.3.20

特集

大学創立75周年

プロジェクトを振り返って



NANZAN
UNIVERSITY

大学創立75周年プロジェクトを振り返って

つなごう、未来へ



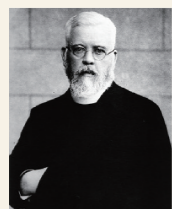
ロゴ・キャッチコピー

「青く美しい地球を昇る太陽=未来」へ向かう75周年であることを南山カラーで表現したロゴ。学生企画スタッフが考案しました。



学生企画スタッフ

イベント、学内装飾、グッズなど、75周年プロジェクトを盛り上げてくれた在学生たちです。プロジェクト実施に先がけて、学内公募により、2020年11月13日に発足しました。



写真：南山アーカイブス所蔵

ライネルス
中央図書館構想

75周年記念事業として、南山学園創立者であるヨゼフ・ライネルス師の名を冠した図書館リニューアル事業を行います。2022年2月着工。

南山大学では、大学創立75周年プロジェクト実施期間を2021年4月1日から2022年3月31日に定め、大学創立75周年(以下、75周年)を記念した様々なプロジェクトを実施しました。この一年の様子を写真とともに振り返ります。

2021.4.1



75周年特設サイト

南山大学の歴史や75周年プロジェクト、グッズなどを紹介する特設サイトを開設しました。

75周年記念募金

図書館リニューアル事業を支援するための募金を開始しました。様々な寄附特典も用意しています。

学内装飾

正門やメインストリート、各教室棟の入口に75周年を祝う装飾を施しました。



グッズ
75周年を記念し、真空断熱タンブラーやマフラータオルなど、グッズの作成、販売をしました。



Sophomore Fair

4月14日から30日、新2年生(2020年度入学生)のための交流イベントを開催しました。学部・学科ごとにイベントが催されました。



キックオフイベント

4月28日、75周年プロジェクトの幕開けとなる学生企画を開催しました。学生企画スタッフが運営の中心となり、チアリーディングチームもイベントを盛り上げました。



記念植樹

リアン前にハナミズキを3本植えました。花言葉は「永続性」。



ヒストリーパネル

南山大学75年の歴史を紹介するパネルをG棟コリドーに展示しました。



南山大学ヤンセン国際寮

75周年記念事業として、2022年4月、キャンパス隣に開寮する国際学生宿舎。ダイバーシティ&インクルージョンをテーマとする教育プログラムを実施します。



南山ゆかたフェス

毎年の夏の風物詩である南山ゆかたフェス。今年は75周年記念企画として、学生企画スタッフが射的大会を開催しました。



新2年生のための入学セレモニー

4月3日、新型コロナウイルス感染症の影響で、入学式が挙行できなかった新2年生(2020年度入学生)の入学を改めて祝福するための入学セレモニーを開催しました。



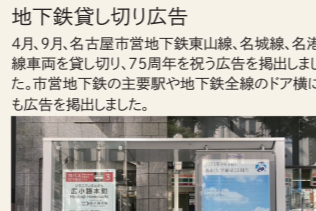
75周年記念動画

南山大学の歴史から現在の取り組みまでを紹介する動画を制作しました。



バス停広告

4月、9月、名古屋市内のバス停に広告を掲出しました。



地下鉄貸し切り広告

4月、9月、名古屋市営地下鉄東山線、名城線、名港線車両を貸し切り、75周年を祝う広告を掲出しました。市営地下鉄の主要駅や地下鉄全線のドア横にも広告を掲出しました。



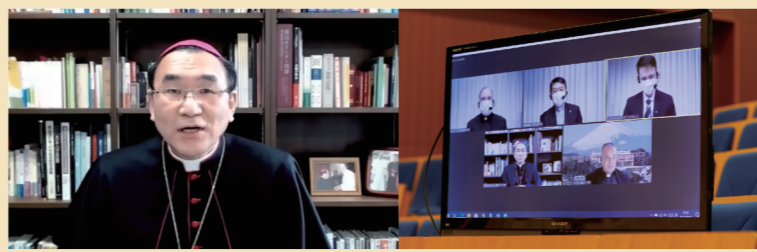
フォトコンテスト

学生企画スタッフの立案、運営で、Instagram上でフォトコンテストを開催しました。#なんヒス#なんバスなど部門ごとに写真が投稿されました。



75周年記念式典・記念講演会

9月11日、オンライン配信にて75周年記念式典を開催しました。第1部「記念式典」、第2部「記念講演会」。「記念講演会」では、菊地功カトリック東京大司教による講演ののち、菊地大司教と歴代学長による座談会を開催しました。



オルガンコンサート

オルガニストの椎名雄一郎氏(活水女子大学音楽学部教授)の演奏をオンライン配信しました。



図書館秋の企画展

75周年記念企画として、1946年当時の世相を図書館資料とともに振り返りました。



NANZAN Contest

「75周年学生企画スタッフ賞」を設け、大学祭で行われたNANZAN Contestとコラボレーションしました。



ホームカミングデー企画
同窓会共催記念講演会

10月31日、アナウンサーとして活躍する卒業生2名(佐藤啓氏、佐藤麻美氏)をお招きし、講演いただきました。



南山大学小・中学生向け講座

11月20日、21日、75周年記念企画として、小・中学生向け講座を開催しました。



南山大学図書館カトリック文庫講座

11月20日、高木慶子氏を講師に迎え、講演いただきました。



NANZAN CHRISTMAS STORIES

学内のクリスマスイベント中に、学生企画スタッフがオリジナルエコバック作りを企画、出店しました。



創立・創業75周年
スガキヤコラボ企画

同じく75周年を迎えるスガキヤコンスタムス(株)とコラボし、特別メニュー「ピリッと!あさりラーメン」の開発、販売を始め、様々なコラボレーション企画を展開しました。



2019年度卒業生のための卒業記念イベント

1月9日、新型コロナウイルス感染症の影響で卒業式が挙行できなかった卒業生の卒業を、改めて祝福するための卒業記念イベントを開催しました。



南山大学七十五年史

75年の歴史を「南山大学七十五年史」としてまとめました。



ミサ@NANZAN
75周年記念感謝ミサ

3月30日、神言神学院大聖堂にて、学長、75周年プロジェクト実行委員会委員長、キリスト教センター長による共同司式ミサを実施予定です。



「人間の尊厳賞」創設

75周年を機に、「人間の尊厳のために」という理念の実現に多大な貢献を果たしている人物、組織等を表彰する「人間の尊厳賞」を創設しました。

75周年プロジェクトを振り返って

75周年プロジェクト学生企画スタッフ
大橋拓真(総合政策学部3年)



私たち大学創立75周年プロジェクト学生企画スタッフは、4月のキックオフイベントをはじめとして、1年間たくさんのイベントや企画を実施してきました。いろいろな学部、学年の学生スタッフの仲間、さらに普段の学生生活では関わることのない先生方や職員の方々と一緒に企画をできたこと、4年間の大学生活の中で創立75周年という節目に学生スタッフとして携われたことは、とても貴重な経験、思い出となりました。創立100周年の際にも、記念プロジェクトが実施されることを楽しみにしています。

◀前列中央が大橋さん

大学創立75周年を振り返って

75周年プロジェクト実行委員会委員長
ヤコブ・ライチャーニ



この度、様々な人にお力添えをいただき、多くの記念事業を無事に終わらせることができました。実行委員長として感じたことを振り返りたいと思います。まず、感染症という妨げのため、夢を膨らませて計画していた行事を全て実行することはできませんでした。そのような状況にあって、残念に思いつつも、代替案で対応するという柔軟性を学んだのではないかと思います。また、少人数で取り組まざるを得なかったのは確かですが、一方的に委員だけで進めるのではなく、教職員に加えて学生スタッフにも関わってもらい、多種多様なメンバーでお互い協力できたことに大きな意味があったと思います。何よりも、学内外の人に意識してもらい、宣伝するための貴重な機会でした。

75周年を終え、100周年に向けて

南山大学長
ロバート・キサラ



2021年、南山大学は創立75周年を迎えました。コロナ禍の影響により、計画した記念イベントを変更したり、規模を縮小したりせざるを得ませんでした。皆さまのご協力と創造力のお陰で、充実した記念の節目となりました。コロナ禍と共生する一年間だったからこそ、大学の未来にとっては貴重な経験になったと思います。引き続き100周年に向けた大学像について皆さんと一緒に考え、その実現に努めたいと思います。

2022.3.31

学部・学科別志願者数・合格者数推移

2022年度入試 学部・学科別志願者数・合格者数推移表

※共通テスト利用入試[後期]の結果につきましては、大学Webページ「受験生の皆様」にてご確認ください。https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/



2021年度入試

2021年度入試 学部・学科別志願者数・合格者数推移表

主要3入試（共通テスト利用入試[後期]除く）の総志願者数が増加

2022年度入試の志願者数は、一般入試が9,766人、全学統一入試[個別学力試験型]が5,702人、[共通テスト併用型]が3,047人、共通テスト利用入試[前期3教科型]が2,647人、[前期5教科型]が1,920人、主要3入試（共通テスト利用入試[後期]除く）の合計では23,082人（昨年度比105%）となりました。

2022年度入試の概況

新型コロナウイルス感染症拡大が続いている中、南山大学では全学統一入試および一般入試において新型コロナウイルス感染症に罹患したこと等の理由により欠席せざるを得なかった方を対象に「特例措置」を設定しました。試験当日、受験生への「除菌ウェットティッシュ」の配布を始めとした新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと講じた上で、全学統一入試および一般入試ともに試験が行われ、無事に終了いたしました。

合格発表

合格発表は2月20日に、Webページ上に合格者の受験番号を掲載し、併せて合格通知書（入学手続書類を含む）を送付する形でを行いました。今年度の合格者数は、一般入試が3,812人、全学統一入試[個別学力試験型]が1,786人、[共通テスト併用型]が1,421人、共通テスト利用入試は[前期3教科型]が1,505人、[前期5教科型]が1,383人でした。

2022年度入試 都道府県別志願者数・合格者数 ※2022年2月20日合格発表分

2022年度入試 都道府県別志願者数・合格者数表

※高等学校卒業程度認定試験・外国の学校等・文部科学大臣の指定した者・認定・在外教育施設・専修学校の高等課程を指します。

活躍する南山大生

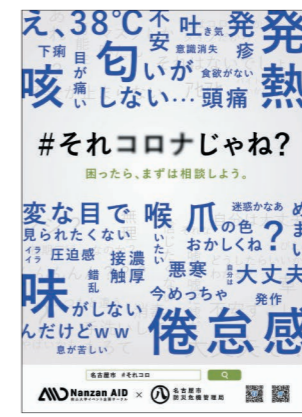
水平さん、鈴木さんのインタビューをWebサイト「NANZAN Today」で公開しています。



#それコロナじゃね？ 名古屋市と連携し、若者向けの新型コロナウイルス感染症感染防止のためのポスターや動画を作成

本学の有志団体「NanzanAID（ナンザンエイド）」が、名古屋市防災危機管理局と連携し、若者向けの新型コロナウイルス感染症感染防止のための啓発事業を実施しました。

「NanzanAID」に所属する総合政策学部3年の水平論さんが名古屋市内に協力を申し出たことからはまったこの事業。当初は「若者の意見が聞ければ良いな」という程度だったところ、同団体がデザインを担当する総合政策学部3年の鈴木岬成さんが作成した広報物を見せたことをきっかけに、本事業の啓発メッセージやポスター、動画の制作まで担当することになりました。約2ヶ月かけて作成した動画やポスターは、2021年12月、名古屋市内の地下鉄の駅や、オアシス21などのデジタルサイネージに掲出されました。



▲若者言葉を使用し、作成したポスター

▲杉野みどり名古屋市長（本学卒業生）と同団体のメンバー



海外からのご来訪 2021.11.24

駐日ドミニカ共和国特命全権大使 高田ロバート氏が来学され、キサラ学長を表彰訪問されました。本学からは、キサラ学長、星野昌裕副学長（グローバル化推進担当）、浅香幸枝准教授（外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科）が出席し、今回の来訪を歓迎しました。



▲(左から)浅香准教授、高田ロバート氏、キサラ学長、星野副学長

2021.12.13

在名古屋トルコ総領事 ウムット・リュトフイ・オズテュルク氏が来学され、キサラ学長を表彰訪問されました。キサラ学長はオズテュルク総領事の来訪を歓迎するとともに、本学とトルコの学生間交流についての意見交換を行い、今後の日本とトルコの友好関係について議論を交わしました。



▲(左から)オズテュルク総領事、キサラ学長

※撮影時のみマスクを外しています。

2021.11.4

「南山大学創立75周年記念募金」目録贈呈式

本学名誉教授の岡部朗一氏より、「南山大学創立75周年記念募金」へ多大なるご支援を賜りました。11月4日に行われた目録贈呈式では、キサラ学長から感謝の気持ちをお伝えした後、岡部名誉教授からキサラ学長へ寄附金の目録が手渡されました。今回いただいたご寄附は、南山大学創立75周年を記念した図書館リニューアル事業「ライネルス中央図書館構想」のために活用されます。



▲(左から)岡部朗一名誉教授、キサラ学長

2021.11.28

2021年度南山大学・豊田工業大学連携講演会 『再生可能エネルギー』の展望と可能性

11月28日、2021年度南山大学・豊田工業大学連携講演会『再生可能エネルギー』の展望と可能性を開催しました。豊田工業大学からは、工学部・山方啓准教授が「太陽光を使って水から水素を製造できる光触媒の研究」、本学からは、総合政策学部・鶴見哲也准教授が「我々は再生可能エネルギー普及にどのように関わっていくべきか」と題し、それぞれ講演を行いました。

南山大学と豊田工業大学との連携講演会は、両大学の連携姿勢と成果を広く社会に周知することで社会的な認知度をあげると共に、地域一般の教養啓発をはかることを目的に行っており、今年で16回目の開催となりました。



▲豊田工業大学・山方准教授

▲本学・鶴見准教授

2021.11.20

南山大学創立75周年記念企画 第6回南山大学図書館カトリック文庫講座

11月20日、第6回南山大学図書館カトリック文庫講座を開催しました。カトリック援助修道会会員・上智大学グリーンケア研究所名誉所長の高木慶子氏を講師に迎え、「浦上のキリシタン、高木仙右衛門のこゝろ 一明治政府は、なぜキリシタン禁制高札を撤去したか」をテーマに講演いただきました。



▲講師の高木慶子氏

2021.11.20-2021.11.21

南山大学創立75周年記念企画 2021年度南山大学小・中学生向け講座

11月20日、21日、2021年度南山大学小・中学生向け講座を開催しました。「世界とつながってどうということ?—国際交流について考えてみよう—」「自作のエレキギター機材を使った電気電子工学の醍醐味」をテーマに、それぞれ小学生、中学生を対象とした4講座を開講しました。



▲講座の様子「世界とつながってどうということ?—国際交流について考えてみよう—」



▲講座の様子「自作のエレキギター機材を使った電気電子工学の醍醐味」

2021.12.8-2021.12.10

クリスマスイベント

12月8日~10日にかけて、カトリック系ミッションスクールである本学らしく、校内の様々な場所でクリスマスイベントを開催しました。ログスセンターではハンドベル体験会やチャリティーバザーが催され、グリーンエリアではスカイランタンが冬の夜空を彩りました。



▲ログスセンターで開催されたチャリティーバザー ▲グリーンエリアで開催されたスカイランタン

2021.12.10

降誕祭

12月10日、第32回降誕祭を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として人数制限を設けながら、クリスマス聖式—感謝の祈り、クリスマスパーティーを開催しました。



▲神言神学院大聖堂で開催されたクリスマス聖式

2021.11.20

ヤンセン国際寮2022年4月開寮記念イベント

11月20日、ヤンセン国際寮2022年4月開寮記念イベントを開催しました。第1部講演会では、カナダ外務省のシェニエ・ラサル氏、トヨタ車体株式会社の近藤葉月氏をゲストに迎え、山岸敬和国際センター長がモデレーターとなり、「多文化共生社会を生き抜く力とは?~ダイバーシティ&インクルージョン~」をテーマに、対談形式でお話を伺いました。第2部では、高校生を対象とした多様性について理解を深めるワークショップを開催しました。



▲講演会の様子

2022.1.9

2019年度卒業生のための卒業記念イベント

1月9日、2019年度卒業生のための卒業記念イベントを開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で卒業式が中止になった2019年度卒業生の卒業を祝うセレモニーとアカデミックガウン・角帽の貸し出しを行いました。当日は400人近い卒業生がキャンパスに集い、2年越しの「卒業」を喜び合いました。



▲パッハスクエアに設置されたフォトスポット

▲記念撮影する参加者

総合政策学部、経営学部、国際教養学部の学生が、 かがやけ☆あいちサスティナ研究所の 「成果発表会2021」で最優秀賞、優秀賞等を受賞

愛知県主催のかがやけ☆あいちサスティナ研究所の「成果発表会2021」において、本学総合政策学部1年の平田くるみさんが参加するチーム・豊島が「最優秀賞(個人参加部門)」と会場来場者の投票による「オーディエンス賞」を、経営学部3年南川ゼミ松本かなめさん率いるチーム・SALAが「優秀賞(団体参加部門)」を、国際教養学部2年の平井杏奈さんが参加したチーム・日本ガイシ

が「優秀賞(個人参加部門)」を、国際教養学部3年の木野下真優さんが参加したチーム・ホーユーが「SDGs賞」を受賞しました。

あいちサスティナ研究所は、パートナー企業から提示された環境課題に対し、研究員として参加する学生が現場での調査や企業担当者とのディスカッションを通じて課題解決策を企業側に提案し、その成果を広くPRするものです。



▲表彰式の様子

本学経済学部・小林佳世子准教授が、 「日経・経済図書文化賞」を受賞

本学経済学部・小林佳世子准教授が、「日経・経済図書文化賞」を受賞しました。本賞は、過去1年間に刊行された経済・経営に関する図書の中から優れた作品を表彰するものです。小林准教授の著書は、「最後通牒ゲーム」という世界で最も多く行われてきた経済学の実験をもとに、ヒトのもつ合理性について議論しています。科学の発展を謎

解きで示した物語でありながら、単なる読み物ではなく、謎を解くための様々な仮説が明確に示され、また、多様な分野の研究者たちが仮説を検証していく過程を楽しく伝えており、高校生から読める優れた書籍だと評価されました。



▲受賞著書
『最後通牒ゲームの謎: 進化心理学からみた行動ゲーム理論入門』



▲授賞式の様子
(写真: 日本経済研究センター提供)

総合政策学部、経済学部の学生が、 「日本政策学生会議 政策フォーラム」優秀賞、分科会賞を受賞

日本政策学生会議主催の「ISFJ2021日本政策学生会議 政策フォーラム」で本学総合政策学部鶴見ゼミのチームが「優秀賞」と「分科会賞」を、本学経済学部寶多ゼミのチームが「分科会賞」を受賞しました。日本政策学

生会議は「学生の政策提言による望ましい社会の実現」を理念とする学生シンクタンクで、政策フォーラムは政策提言の全国大会にあたり、今年度は20大学98チーム、合計500名が参加しました。

	学部	リーダー	テーマ
優秀賞	総合政策学部	渡邊美樹(3年)	『納品期限切れ加工食品販売構造構築による食品ロス削減』
分科会賞	総合政策学部	石川萌絵(3年)	『身近な自然との触れ合い機会の創出: フィンランドとの比較によるアプローチから』
分科会賞	総合政策学部	今泉菜々子(3年)	『望ましいテレワークの在り方』
分科会賞	経済学部	鈴木農士(3年)	『持続可能なミックス古紙の処理方法〜古紙輸入規制への対応〜』



▲優秀賞を受賞したチームの皆さん

外国語学部アジア学科の学生が、 「第1回日中大学生スピーチ交流会」で日本人学生第2位を受賞

日中友好協会主催の「第1回日中大学生スピーチ交流会」で本学外国語学部アジア学科3年の黒須朝陽さんが、日本人学生第2位となりました。

この交流会は、日本各地の中国人留学生と中国語を学ぶ日本人大学生をつなぎ、語学学習を通して相互理解と交流を深めることを目的として開催されています。日

本人大学生と中国人留学生が二人一組の学習パートナーとしてオンラインで交流・学習し、また、SDGsについて深く考え、中国語のスピーチ(日本人大学生)と日本語のスピーチ(中国人留学生)を作り上げました。黒須さんは、教育格差のない社会をテーマに中国語でスピーチをしました。



▲(左から)黒須さん、学習パートナーの中国人留学生

Information

■ 名誉教授称号授与

次の2名の教授に対しその功績を称え、2021年4月1日付で名誉教授の称号を授与しました。

- 人文学部 阿部 泰明 教授
- 外国語学部 松永 隆 教授



▲(前列中央)阿部泰明教授



▲(前列中央)松永隆教授

※撮影時のみマスクを外しています。

キャリア支援課
プログラム紹介

第8回南山大学卒業生キャリア・アドバイザーと在学生との交流会

12月4日、「第8回南山大学卒業生キャリア・アドバイザーと在学生との交流会」を実施しました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインでの開催となりましたが、北海道や東京などの遠方からも多くのキャリア・アドバイザーの皆さん(本学卒業生)にご協力いただくことができました。参加した学生は幅広い世代の様々なキャリアを持った先輩方の話に熱心に耳を傾け、積極的に質問していました。今後も南山大学から社会で活躍できる人材を多く輩出できるよう、卒業生と在学生とのネットワーク構築・強化を目指して、このような機会を設けていく予定です。

キャリア・アドバイザーとは

南山大学では、在学生のキャリア支援・就職支援のさらなる充実を図るため、社会でご活躍されている卒業生の皆様にキャリア・アドバイザー登録をお願いしています。

キャリア・アドバイザーにご登録いただいた皆様には、本学主催の各種プログラムへのご参加や個別相談を通じて、在学生にアドバイスをお願いしています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

キャリア・アドバイザー登録フォーム:

https://app.nanzan.ac.jp/regform/regist/univ/career/ca_reg



2022年度 南山エクステンション・カレッジ
学生向け特別講座

南山エクステンション・カレッジでは、将来につながる、南山生のためだけの特別講座を開講します。

講座名/開講期間	講座開講曜日	申込期間
公務員試験対策講座(総合コース) 2022年5月7日(土)~12月21日(水)	水・土	3月14日(月)~4月21日(木)
公務員試験対策講座(教養コース) 2022年5月7日(土)~12月10日(土)	土	
宅地建物取引士講座 2022年5月6日(金)~10月12日(水)	水・金・土	
教員採用試験対策講座(直前対策コース) 2022年5月7日(土)~6月25日(土)	土	5月2日(月)~5月30日(月)
エアライン就職対策講座 2022年6月11日(土)~8月6日(土)	土	
秘書検定準一級対策講座 2022年9月7日(水)~11月9日(水)	水	7月11日(月)~8月25日(木)

この他、南山エクステンション・カレッジ公開講座では、資格を取得したい、スキルアップを図りたいなどの意欲がある学生にむけて「日商簿記3級検定試験対策講座」、「3級ファイナンシャル・プランニング技能士検定試験対策講座」、「世界遺産検定2級対策講座」、「マナー・プロトコル検定2級対策講座」などを開講します(有料)。詳細は南山エクステンション・カレッジのWebページをご覧ください。

<http://office.nanzan-u.ac.jp/EXTENSION/>

[申込み・問い合わせ先]

南山エクステンション・カレッジ事務室(R棟7階)

E-mail: extension-s@nanzan-u.ac.jp Phone: 052-833-6957



2021年度 学生部長表彰

個人もしくは団体が課外活動において特に優れた成績をおさめたとき、または課外活動に著しく貢献したとき、特に顕著な善行を認められたとき、学生部長表彰が授与されます。

【個人】17名

学生氏名	所属名	対象となる活動
堀江ゆうみ	バスケットボール部女子	第76回国民体育大会 バスケットボール成年女子 三重県メンバー
永井 洋斗	水泳部	第97回日本学生選手権水泳競技大会 200m背泳ぎ出場/100m背泳ぎ出場
進 蒼生	水泳部	第97回日本学生選手権水泳競技大会 100m平泳ぎ出場
渡邊 凌太	陸上部	第90回日本学生陸上競技対校選手権大会(全日本インカレ) 男子800m出場/ 第48回東海学生陸上競技秋季選手権大会 男子800m2位
新崎 徳也	陸上部	第48回東海学生陸上競技秋季選手権大会 男子400mH3位
伊藤 萌夏	フィギュアスケート部	第15回西日本学生フィギュアスケート選手権大会3級 4位/第94回日本学生氷上競技選手権大会 10位
泉谷真里奈	フィギュアスケート部	第15回西日本学生フィギュアスケート選手権大会4級 4位/第94回日本学生氷上競技選手権大会 出場権獲得
大橋 潤	ラクロス部男子	ラクロス男子20歳以下日本代表
谷本 大真	ラクロス部男子	ラクロス男子20歳以下日本代表
土居あやめ	漕艇部	第48回全日本大学選手権 3位(インカレ)
立花貴代子	スペイン語A1カテ	住宅火災における人命救助(2020年11月22日)
松代 龍治	国際教養学科	2021カヌー・海外派遣選手権大会 1000m男子1位/第57回全日本学生カヌー選手権大会 1000m男子1位、200m男子2位、最優秀選手賞(男子カヤック部門)
平田くるみ	総合政策学科	かやけ☆あいちサステイナブル研究所成果発表会2021 最優秀賞(個人参加部門)・オーティエンズ賞
山内理紗子	ラクロス部女子	2021年度女子日本代表強化指定選手/東海学生女子ラクロスリーグ戦 MVP
中嶋はるな	ラクロス部女子	2021年度女子日本代表強化指定選手
黒須 朝陽	アジア学科	第1回日中大大学生スピーチ交流会 日本人学生第2位
塩谷 果穂	弓道部女子	第65回東海学生弓道秋季リーグ戦・女子部リーグ戦女子III部リーグ 十傑3位

【団体】6団体

団体名	対象となる活動
剣道部	第68回東海学生剣道優勝大会 二部 優勝
Nanzan AID	名古屋市防災危機管理局と共同で新型コロナウイルス感染症拡大防止の周知・啓発活動を実施
経済学部 稲垣ゼミ	第21回全国学生対抗円ゲービー 懇場チームユニーク賞、円相場予想レース4位入賞/高桑チーム もう一歩賞
総合政策学部 鶴見ゼミ	日本政策学生会議 政策フォーラム 優秀賞
ラクロス部女子	第12回ラクロス全日本大学選手権大会 ベスト4/第29回東海学生ラクロスリーグ戦 優勝
弓道部女子	第65回東海学生弓道秋季リーグ戦・女子部リーグ戦 準優勝/第65回東海学生弓道秋季リーグ戦 女子III部リーグ 優勝

寄附者ご芳名

「南山大学レーモンド・リノベーション・プロジェクト募金」へのご協力に感謝いたします。

山本 英仁 様 太田 晋小美 様 匿名ご希望者 1名様
二村 裕 様 加藤 紀子 様

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

後藤 勝 様 有限会社橋本樹脂工業
長坂 裕一 様 代表取締役 橋本 公夫 様
匿名ご希望者 1名様 株式会社名古屋銀行
取締役頭取 藤原 一朗 様
南山大学同窓会 様
南山大学後援会 様

「新型コロナ対策学生応援募金」へのご協力に感謝いたします。

渡辺 和 様 浅井 秀明 様 匿名ご希望者 7名様
宇都野 信清 様 遠藤 晴代 様 1団体様

「南山大学創立75周年記念募金」へのご協力に感謝いたします。

早川 昇 様 内藤 秀男 様 西田 恒隆 様
竹内 希枝 様 佐藤 長宣 様 岡部 朗一 様
山本 英仁 様 牛田 昌弘 様 匿名ご希望者 14名様
吉田 靖志 様 池田 祥三 様
富増 和可 様
武田 正博 様 落研有志一同
成田 栄寿 様 代表 石原友一 様
奈良 章 様 株式会社三樹園
鈴木 省三 様 代表取締役 奥村保弘 様
浅井 秀明 様 株式会社植屋
木谷 裕子 様 代表取締役 大原康之 様
遠藤 晴代 様 竹田印刷株式会社
西尾 直哉 様 代表取締役 木幸幸治 様

新任用教員紹介

2022年1月1日付

●外国人留学生別科

講師 近藤 かをり (専攻分野: 日本語学、日本語教育)

本学名誉教授 末重正行氏のご逝去

本学名誉教授の末重正行氏(92歳)が、2021年12月4日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

本学名誉教授 津村俊充氏のご逝去

本学名誉教授の津村俊充氏(70歳)が、2022年1月20日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

